

第2回 地域NOG BoF のご報告

ENOG85 Meeting

2025年2月28日

株式会社グローバルネットコア

金子 康行



<https://www.global-netcore.jp/>

第2回 地域NOG BoF が開催されました



※ 第1回 地域NOG BoF は、JANOG54@奈良で開催されています（2024年7月）

■ 第2回地域NOG BoF

1月 23日 (木曜日) ・ 11:00～12:00



説明

主催者の氏名：大日方 周太、生野 勇貴

主催者の所属組織：CNCI、BBIX

主催者の連絡先メールアドレス：obinata@cnci.co.jp、yuki.ikuno@bbix.net

主催者のJANOG Slack上の表示名：Obinata、Yuki Ikuno

概要(書式自由)：

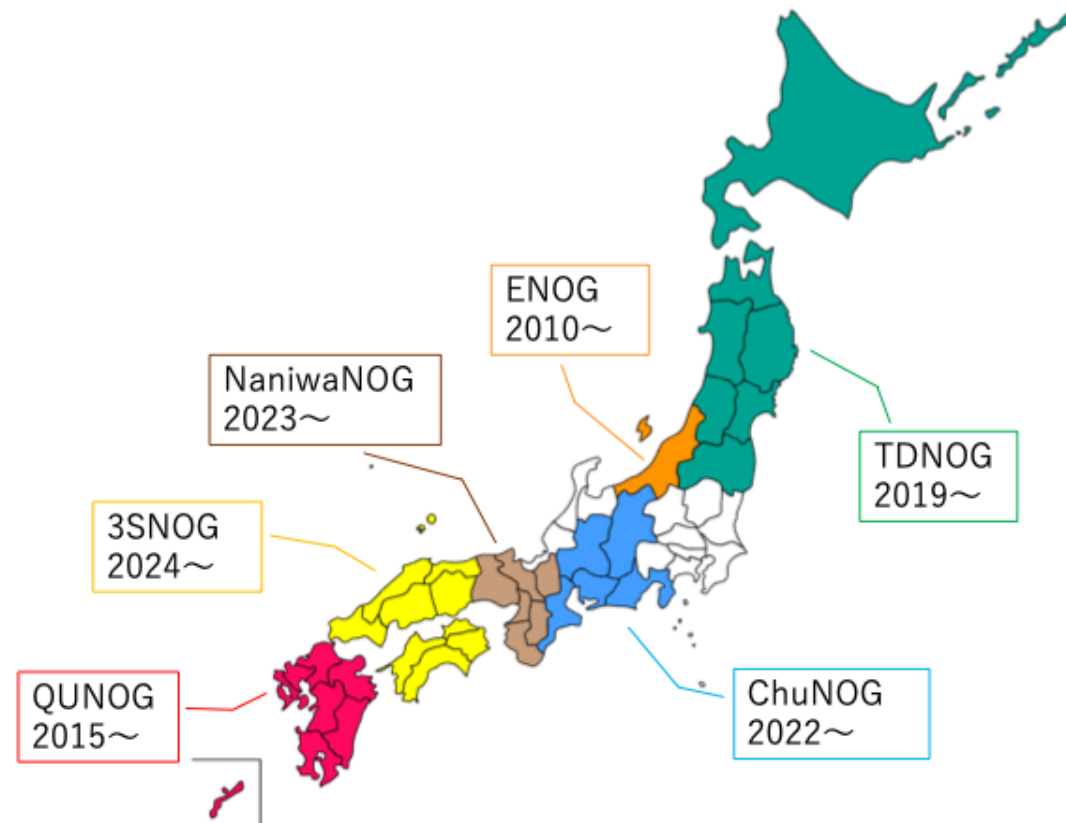
ENOG、QUNOG、TDNOG、ChuNOG、NaniwaNOGに続き、2024年12月には3SNOGが初開催され、地域NOGがますます盛り上がってきました。

そこで今回、地域NOGに関する課題など参加者からの意見を交えながら今後の運営に活かしていきたいと思い、BoFを開催したいと思います。

地域NOG BoF のスライドから

地域NOG BoF

- 各NOG UPDATE
- 課題ディスカッション
- 総務省様から



地域NOG BoF のスライドから

TDNOG(とどのぐ)とは

東北・北海道ネットワークオペレーターズグループ

TDNOGとはTohoku hokkaiDo Network Operators' Groupを意味し、東北北海道エリアのインターネットに於ける技術的事項、および、それにまつわるオペレーションに関する事項を議論、検討、紹介することにより知見と親交を深めることを目的としたグループ。

- 東北6県、北海道のネットワークエンジニアが集まり知見と親交を深めます
- 東北6県、北海道の学生と知見と親交を深めます
- 道県外からの参加は、大歓迎です

| 項目 | 内容 |
|-------|---|
| 日本語名称 | 東北・北海道ネットワークオペレーターズグループ |
| 英語名称 | Tohoku hokkaiDo Network Operators Group |
| 略称 | TDNOG |
| 略称読み方 | とどのぐ |
| 設立 | 2019年7月 |
| 運営委員 | 馬場 聡、安保 達成 他複数名 |
| 開催周期 | 年2回 ※直近はTDNOG8.0開催(2023年11月) |
| 開催場所 | 東北6県・北海道 |

About ENOG

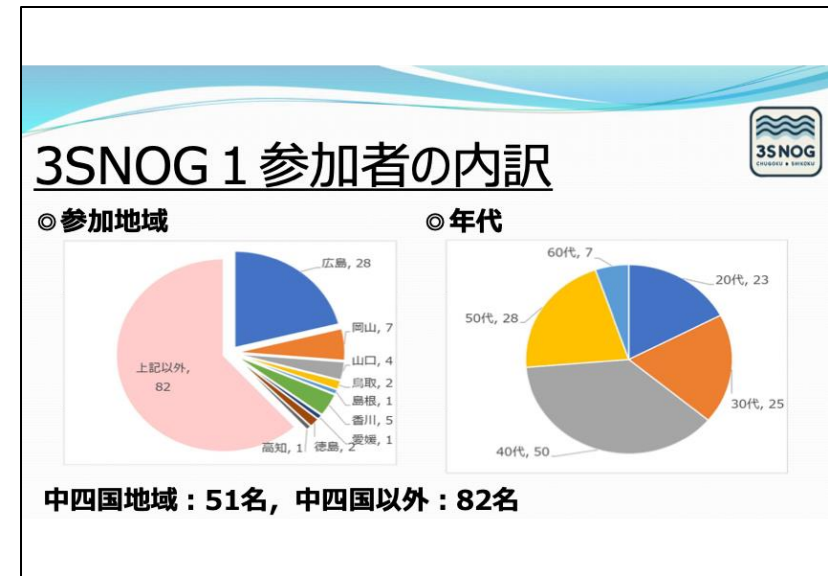
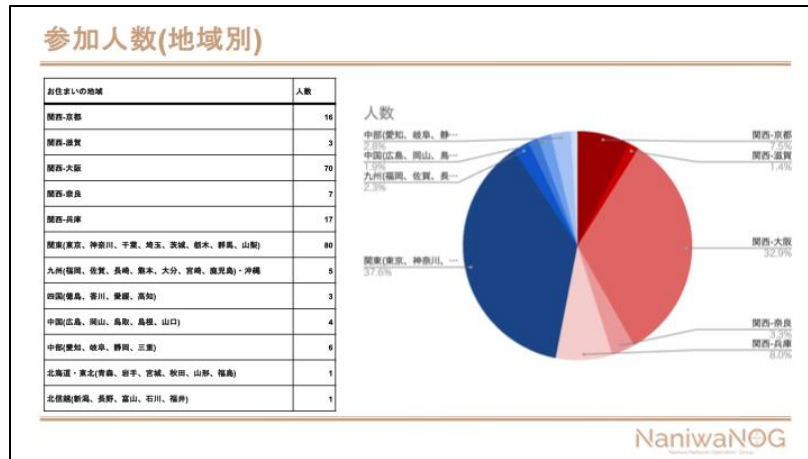
2010年に発足した新潟県地域の Network Operators' Group

運営委員は新潟県内の各都市に在住

3ヶ月に1回ミーティングを開催
(2月、5月、8月、11月)

運営委員が持ち回りで幹事を務める

<https://enog.jp/>



地域NOG BoF のスライドから

課題あれこれ

■学生支援

- なにを支援するのが良い？
- 懇親会費は定額だけど交通費は人それぞれ・・・
- お金の管理(協賛金受け取り・支援者への振込・繰越金の管理など)

■地域の参加者をもっと増やしたい

- 特に若者、学生
- 遠方の方が参加しやすい(≒社内で説明しやすい)内容やイベントの企画

■プログラム選定

- 当該地域の方の登壇、地域のみなさんを巻き込んだプログラムにしたい
- ローカルネタが共有化しにくい(地域性が出すぎる?)

■継続することへの課題

- プログラム策定
- 遠方の方が参加しやすい(≒社内で説明しやすい)内容や併催イベントの企画
- 開催地、会場選び (なるべく安価で大きな会場→250人規模?)
- 懇親会費の集金問題 (100名超えると当日集金や領収書発行が大変
ツールを使うと手数料がかかる)~

■かつてのEchigo-IXのような面白い活動の発見

課題あれこれ、について

- **若手・学生の引き込みは各NOGに共通の課題**
 - 学生が参加しやすい時期・曜日に配慮、開催場所を学校にする
 - 学校の先生との関係づくり、学校に対して学生の「公欠願」を発行
 - 交通費・懇親会費等の補助、就職マッチング含みのスポンサー
 - NOCチームの組成、体制・機器調達の負担、回線面での会場制約
- **運営上の課題**
 - 地域内からの参加者をどう増やすか
 - 地域内からの発表プログラムをどう揃えるか
 - 懇親会の集金管理・領収書発行の仕組みとコスト負担

地域NOG BoF のスライドから

総務省様から

総務省データ通信課では、ネットワーク産業の将来や公共的な課題について議論ができるようなインターネットコミュニティの発展を促進するための施策を検討しております

省内で共有されつつある問題意識（大局的な観点から）

- ・インターネットコミュニティの縮小や高齢化
- ・技術に即してインターネットの今後を議論する人や機会が減っている
- ・インターネットコミュニティの中でもサイロ化が進みつつあるのではないか
- ・殊に、各地域においては、このような傾向が各種課題の解決や新サービスの創出に間接的に悪影響を及ぼしていることもあるのではないかと

以上の背景のもと、各地域において技術者や事業者の方々の活動を支えることも念頭に、インターネットコミュニティの発展促進に向けた施策を検討

- ・地域NOGの近年の活動状況、注目を集めているトピック
- ・ご所属、あるいは関係のある地域ISPのビジネス・運用動向・課題
- ・各地域において考え得る今後のサービスとそのために必要となるインフラや支援
- ・他分野（レイヤ）・他業種・対国際など、視野や連携先の拡大可能性
- ・国・総務省に期待する活動・施策

またやるっぽいよ

第3回 地域NOG BoF は

2025年7月末の松江で

やるんじゃないかな～ しらん
けど



3月17日、JPNIC総会後に座談会を行います

「ネットワークを支える仲間を増やしたい！地域の力でつなぐ未来」

この十数年で、日本各地に地域NOG（ネットワーク運用者コミュニティ）が誕生し、地域ごとの連携が強まっています。その結果、各地域ならではの課題共有も進んできました。

今回は、各地域NOGのメンバーをお招きし、地域が直面する課題、特に人材の確保や育成をテーマに、JPNIC会員の皆様と共に議論を深めていきたいと思えます。

| | |
|-----------|--------------------------|
| TDNOG | 鵜野 直樹 氏 (株式会社帯広シティーケーブル) |
| ENOG | 金子 康行 氏 (株式会社グローバルネットコア) |
| NaniwaNOG | 奥野 悠 氏 (クラスメソッド株式会社) |
| 3SNOG | 西田 貴之 氏 (株式会社エネコム) |
| QUNOG | 芝村 正志 氏 (株式会社シナプス) |
| ChuNOG | 水野 稔晴 (JPNIC) |



確かな未来を、確かな力で。



GLOBAL NET CORE